

---

# すくすくみどり

No.20

---

## 札幌のまちにフクシアを



財団法人 札幌市公園緑化協会

# 目 次

■はじめに	1
■フクシアに関する基礎知識	2
■フクシア栽培の基礎	5
■フクシアの四季の管理	8
■フクシアの挿し木繁殖と苗作り	11
■フクシアの仕立て	15
■フクシアの植え替え	21
■フクシアの病虫害	23
■耐寒性フクシア	25
■いろいろな品種	27
■財団法人札幌市公園緑化協会の環境マネジメントシステム	34
■札幌市都市緑化基金	36
■第41回緑の絵コンクール大賞作品	38
■第19回緑と花のフォトコンテストグランプリ作品	40
■平成19年度札幌市都市緑化基金事業報告	42
■緑の相談	44



## はじめに

みなさんはフクシア（ボクシャ）という植物をご存じでしょうか。お世辞にもメジャーとは言い難い存在であり、国内における生産量も花の中では微々たるものです。

しかし、欧米においてはその存在価値は一変します。フクシアのみを生産、販売する園芸業者が多数あるだけでなく、イギリスやドイツ、フランス、ノルウェーなどのヨーロッパ諸国やアメリカ、カナダといった北米には大きな愛好家団体があり、盛んに展示会を開催しています。今までに6000以上の品種が作られてきたことから、重要な植物であることがわかります。

フクシアがそれだけ大切にされるのには理由があります。第一に花がとても上品であることです。私たちはいろいろな植物の展示会を行っておりますが、若い女性の支持が特に強い植物です。第二に長期間の開花が見込めることです。初夏から秋の終わりまで途切れることなく咲き続けますので、非常に有望な材料です。第三に用途の広いことが上げられます。地植えで使うことのできる他、鉢植えやハンギングバスケットにも最適です。スタンダード作りも比較的容易などいろいろな使い方のできる数少ない植物と言えます。さらには、これが第一の理由と言って良いかもしれませんが、ヨーロッパや北米の一部地域の気候に非常に近いことがあげられます。夏期冷涼かつあまり多湿にならない気候はフクシアの持つ潜在能力を最大限に発揮させてくれます。

国内においても一部で品種の育成が行われ、札幌でも販売されております。しかし、本州の気候に合わせた耐暑性、耐湿性の獲得を重視している分、品種のバラエティさに欠いていると言わざるを得ません。最後に紹介しているような多様な品種を用いてこそ、フクシアの魅力を生かすことができるのです。

札幌の夏期は比較的涼しく、湿度もそれほど高くはなりません。欧米のようにフクシアの潜在能力を発揮させる絶好の場所です。フクシアを使いこなすことは札幌のまちに個性を持たせることにも繋がります。また、日本ではメジャーではないが、世界的にみて札幌のような冷涼な地域で重要な植物であると判断されるであろうフクシアのような植物を一般的に見ることができるようになると、札幌の園芸が成熟したのものになってきたと言えるのではないのでしょうか。

幸いにも、最近は通信販売等で様々な品種を入手できるようになりました。今回のすくすくみどりをきっかけにみなさんもフクシア栽培に挑戦し、ご自宅に飾ってみて下さい。



# フクシアに関する基礎知識

## 原種（野生種）について

フクシアの原種は約100種が知られています。南米のアンデス山地を中心に、北はハイチなどの中米を経てメキシコまで、南はマゼラン海峡を経て南米の最南端地域まで南北に1万km近い広範囲に渡って自生しています。また、タヒチやニュージーランドの太平洋諸国にも一部自生しています。赤道付近から南米のもっとも南極に近い地域までの広範囲に渡る分布のため、主に分布地域の違いによる特徴の差異がみられ、現在では7つのタイプに分けられています。このうち、園芸的に重要なものは3タイプ程度です（下記参照）。

しかし、南端に自生するものはもちろんのこと、熱帯地方に自生するものも、ほとんどが高地に自生するため、比較的低温にも耐える一方で、暑さには強くない性質を持っています。



フクシアの原産地

## タイプA（Section Quelusia）

Fuchsia（以下F.） *coccinea*、*F. magellanica*、*F. regia* など。寒さに最も強いグループで、ほとんどが南米の南部に自生している。園芸的には最も重要で、一般に見かける品種の大半はこのグループの原種を元に育成されている。紫色や青色の花弁が特徴。国内でも多くの品種を入手することができる。



フクシア レギア レギア  
(*F. regia* ssp. *regia*)

## タイプB（Section Fuchsia）

*F. boliviana*、*F. denticulata*、*F. fulgens*、*F. triphylla* など。半数以上の原種が属する最も大きなグループで、南米の北部地域から中米、メキシコにかけて自生している。やや寒さに弱いためもあってか、それほど多くの品種は作られていない。花は細長く、一部にグリーンの入るものがある。国内ではわずかな品種だが入手することができる。



フクシア デンティクラタ  
(*F. denticulata*)



フクシア フルゲンス ゲスネリアナ  
(*F. fulgens* var. *gesneriana*)

## タイプC (Section Encliandra)

F. microphylla, F. thymifolia, F. encliandraなど。比較的小さなグループで中米からメキシコにかけて自生している。やや寒さに弱い。葉は極めて小さく、シダのような雰囲気を持つ。花も小さく、一見したところフクシアのように見えない。国内での販売は最近行われつつある。



フクシア エンクリアンドラ テトラダクティラ  
(F. encliandra ssp.tetradactyla)



フクシア ミクロフィラ ミクロフィラ  
(F.microphylla ssp.microphylla)

## フクシアの花と葉

花

フクシアの花はがく片が大変魅力的です。多くは開花が進むとともに反り返っていきます。また、花弁と色の異なる品種も多く、そのコントラストは印象的です。

多くの品種では、おしべとめしべが大変長くなるのも特徴で、フクシアに気品を与えています。開花が進むとともにごく片と花弁の色が変わっていく品種も多く、一つの株で複数の色合いを楽しむことができます。花弁の数は基本となる一重咲きが4枚、半八重咲きが5~7枚、八重咲きが8枚以上となっています。

花の大きさも直径1cm以下の極小輪から6cm以上となる大輪まで様々です。

しかし、同一品種であっても生育環境によって花色や大きさが変化することが知られています。花は主に葉の付け根に作られますが、一部の品種では茎の先端部に作られます。

これらの特徴を持つフクシアの花はまさに「貴婦人の耳飾り」と呼ばれるにふさわしい装いをしています。



花の各器官の名称



写真右より一重咲き、半八重咲き、八重咲き



いろいろな花



花色の移り変わり (左:アジャックス、右:シャインカール)

## 葉

葉の付き方は実際の管理にも影響します。原種には2枚の葉が向かい合っ  
てつく（対生する）もの、3枚以上の葉が向かい合っ  
てつく（輪生する）もの、1枚1枚互い違いにつく（互生する）もの、さらには対生、輪生の  
両方するもの、対生、互生の両方するものがあります。園芸品種も同じで  
す。多くの品種では対生しますが、低温、低日照下では輪生する傾向があるようです。

後述する剪定、摘芯においては、互生の場合、外向きに芽が出るように考慮してはさ  
みを入れる必要がありますし、摘芯しても芽の数が増えにくいのでできるだけ対生とな  
っている節（葉の付いている部分）で摘芯するなどの配慮が必要になります。逆に輪生  
の場合は摘芯効果が絶大で芽の数を一気に3倍に増やすことも可能となります。



様々な葉序（左より対生、互生、輪生）

## 生理、生態的特徴

フクシアは霜の降りない地域では常緑性となります。つまり、温度があれば葉を落と  
さずに生育し続ける性質を持っています。逆に霜の降りる地域では、葉が枯れ、木本部  
（枝）のみで越冬します。さらに寒い地域では、木部も枯れ、宿根草のように地際部のみ  
が生き残ります。札幌では、後ほど紹介するマゼラニカの品種のみ越冬可能です。

フクシアの生育適温は概ね18~20℃で、涼しい温度が適しています。25℃近くにな  
ると花芽分化（花を作ること）が盛んになります。これは、例えば剪定した後しばらく  
は涼しい温度で茎葉の生長を促し、十分充実させてから高温期（夏期）を迎えるべき等、  
必要な温度管理について示唆しています。実際、夏場に剪定を施すと品種によっては枝  
が2cm伸びたところで開花し始めるので、ボリューム感に欠け見映えがしません。温度  
が30℃前後になると高温のため生長は鈍り、花も小さくなります。関東以西のように  
35℃の高温が続くと、よほどの管理技術がなければ枯死することもあります。

多くの品種は長日性を示します。簡潔に言えば、日が長くなると開花する性質を持っ  
ているということです。従って、1~2月のようにすぐに日の沈む期間は開花しません。  
一部の愛好家の方たちの中には、冬も電灯を当てて咲かせている方もおられるよう  
です。一方、後に紹介するtriphylla（トリフィラ）系のように温度さえあれば開花する品種も  
知られています。従って、品種による多少の差異がみられます。

# フクシア栽培の基礎

フクシアを1年間に渡って管理する場合、時期ごとに様々な作業を行うことになりま  
す。必要な作業を必要な時期に行えるように管理の基礎を知っておきたいです。

## 温度管理

温度が10℃程度あれば、夜温が多少低くてもわずかながら生長するようです。生長  
を抑えるためには5℃程度の温度が確実です。ほとんどの品種は2℃程度でも耐えるよ  
うです。春先に室内で生長させる場合、生育適温は18～20℃ですが少々肌寒い部屋で  
も生長を開始させることができます。十分な光を確保できない場合は、15℃程度の涼  
温でゆっくり生長させることが堅実です。25℃近くなると花を作る働きが強まります  
ので、暖房のかなり効いた部屋へ置くことは避けたいものです。

夏は屋外で管理しますが、連日30℃となるような環境は非常に厳しいです。さらに、  
鉢内の温度上昇も大きく影響します。品種によって耐暑性は異なりますが、高温すぎる  
時は十分灌水しても葉がしおれる、葉が黄化する、花が小さくなるなどの変化が現れま  
す。

フクシアは霜には弱く、霜が降りる前に室内へ取り込みます。しかし、一度くらい当  
たっても木部まで枯死することはありません。

## 光管理

フクシアは光を好む植物です。締めた草姿とするためには十分な光が必要です。一方  
で、ある程度の耐陰性もあり、少々日陰となる場所でも花を咲かせることが可能です。

光管理で最も重要なのは夏場です。光は好むものの高温が阻害要因となって悪影響を  
及ぼします。30%程度の遮光や明るい半日陰への移動が必要になります。さらに、鉢  
に光が当たらない工夫もできれば最高です。最高気温が25～6℃まで下がってくると、  
直射日光へ当てても問題ありません。秋～晩秋にかけては十分、光に当てたいです。

夏場の光管理は品種により多少異なってきますが、「温度管理」で記載したように、  
植物から出されるサインから判断することによって微妙な管理も可能となります。

## 水管理

フクシアは乾燥に弱く、水の好きな植物と言って良いでしょう。一方で、根腐れを起  
こしやすく、滞水を非常に嫌いますので、過度の灌水は禁物です。表面が乾いたら与え  
る、標準的な灌水で良いでしょう。しかし、根がかなり発達していて気温も上がる夏場  
は根腐れを避けるための水やりが必要です。理想的には萎れる少し前に水を与え、乾湿  
の差を春や秋に比べて少し大きくすると良いです。つまり、乾かし気味の管理となりま  
す。特に、鉢に光が当たり、地温が高くなってしまふ場合に有効です。

## 施肥管理

フクシアは長い期間に渡って生長、開花を続けますので、その間は肥料を必要とします。春から初夏に渡る開花までの期間は、充実した枝作りのため、置肥と液肥を両方施用すると良いでしょう。置肥は速効性の化成肥料単用又は緩効性との併用のどちらでも構いません。いずれにせよ、肥料が切れないようにすれば問題ありません。液肥は窒素、リン酸、カリウムの配分には強くこだわりませんが、微量元素の入ったものをおすすめします。例えば、所定の1000倍に薄めた溶液を週一回与えるよりも、2000～3000倍に薄めたものを複数回与える方が有効だと思います。

外気温の上昇する7月以降は、液肥単用が無難です。しかし、置肥をやめる理由は、夏の高温による生長の鈍化で必要とする養分が少なくなること、さらにこの時期には根がつまり始め、多肥が根腐れを引き起こす可能性があることによりますので、年によっても違ってきますし、地域によっても違ってきます。従って、先述のような葉の萎れなどの観察や植え替え時期により変わる根張り状況等によって、御自宅での施肥の切り替えタイミングをつかめれば最も良いです。

さらに、30℃前後の高温が続くようならば薄めの液肥を春より回数少なく与える、または、全く与えないようにします。ここまで高温となると置肥は控えた方が良いでしょう。

## 用土

フクシアは特別用土にこだわる植物ではありません。基本的に排水良い、軽めのものであれば生育します。単用でなく3種類以上の材料を混ぜ合わせて作った方が排水性、保水性、保肥力（肥料を土の中に留めておく力）のバランスのとれた用土となるでしょう。配合の材料となる候補は以下の通りです。

- a 赤玉土：保水、排水性十分。保肥力もある程度ある。全体的にバランスが取れるので、ベースとなりうる用土。やや重い用土。
- b 腐葉土：保水、排水性十分。保肥力もある。保水性を高めるのに働く。軽量な用土。
- c 調整済ピート性培養土：保水性、保肥力あり。排水性もあるが粒子の構造が崩れ長期間は続かない。保水性と保肥力を高めるのに働く。配合によってはベースとなる土。軽量な用土。
- d 火山礫（小粒）：排水性十分。排水力を高めるのに働く。軽量な用土。
- e パーライト：排水性極めて高い。軽量な用土。
- f くんたん、ゼオライト：保肥力あり。根腐れ防止に働く。軽量な用土。

aをベースとする場合、保肥力を高めるためにcを加えたいです。

その場合、保水性が高まりますので、dやeを混入すると良いでしょう。fは5%ほど入っていれば安心です。

従って、a : c : d : e : f = 5.5 : 2 : 1 : 1 : 0.5 や a : c : d : e : f = 4 : 2.5 : 2 :

1 : 0.5などの配合が考えられます。aやcの代わりにbを少量配合しても構いません。もっと気軽に用土を単純化するならば、 $a : c : d = 4 : 2 : 4$ なども可能です。

cをベースとする場合、排水性に考慮する必要があります。cは他と比較して圧倒的に生育の促進に働く優秀な用土ですが、長期間使用し続けると粒子の崩壊によって排水性が低下し、根腐れの原因となります。

従って、 $a : c : d : e : f = 1.5 : 4 : 2 : 2 : 0.5$ など、dやeの量を増やす必要があります。dやeは粒子が硬く、用土の安定に働きます。

本来は、みなさんそれぞれの水やりや施肥のくせによって変わってくるのですが、いずれにせよ、あまり難しく考えないで水はけ良くすることを意識しておけば良いでしょう。



# フクシアの四季の管理

ここでは、今までに記載したことを踏まえて、各々の時期に行いたい作業を確認していきます。みなさんが管理される環境に合わせて独自の作業表を作成してみてください。便宜上、冬の管理から始めていきます。(札幌基準)

## 冬の管理（11～2月） 生長を停止させる時期、挿し木を行う時期

この時期は室内で管理しています。5℃前後の低温下で管理している場合、生長はほとんど止まっている状態ですので、水やりはかなり控えめとなります。根は生きていますので、からからにしない程度の水やりとなります。生長を止めるだけの低温となる場所がない場合でも、できるだけ涼しい場所で管理します。洋ラン愛好家が栽培する温室のような15℃程度の涼温、高日照の好条件を用意できる場合は、1～2月から生長させることも可能です。また、挿し穂を採取して3月以降の苗づくりに備えても良いでしょう。

	剪定、植え替え	挿し木	灌水	施肥
好環境（涼温、高日照）あり	○	○	○	△
好環境なし	×	△	△	×

## 春の管理（3～4月） 生長開始期、挿し木を行う時期

この頃になると日差しは強くなり、室内での生長も可能となります。日当たり良いスペースがあるのならば、是非生長を開始させて下さい。後述しますが、生長開始時に剪定と植え替えを行います。剪定した枝を挿木しても良いでしょう。植え替え後、しばらくして萌芽してきたら施肥も行います。戸外へ出してから本格的な生長をさせたいので、施肥は控え気味でも構いません。日当たり良い15℃くらいの場所があれば、鉢を置くのに最高です。暖房が効いている部屋の場合でも、夜に10℃前半まで下がるような部屋や夕方以降に涼しい部屋へ移動できるならば条件は適しています。昼夜とも10℃前半の部屋でも可能です。昼夜とも20℃以上は温度が高すぎます。条件のあてはまる場所のない場合は、もうしばらく低温下に置いたままとなります。

	剪定、植え替え	挿し木	摘芯	灌水	施肥
適度な環境あり	◎	○	○	○	○
適度な環境なし	△	○	×	△	×

## 初夏の管理（5～6月） 生長期、一部開花

この頃になると、完全に雪も解け戸外へ出すタイミングをはかる時期となります。まだ、生長を開始させていない場合も、剪定、植え替えを行います。光の当たる場所がな

くても構いません。特に新芽が生長している場合は、戸外へ出す1週間程度前に環境に慣らします。札幌の場合、5月下旬の最高気温の平均は17℃強ですが、最低気温は7℃前後です。夜に室内へ取り込む管理も一つの方法ですが、玄関近くで涼温に慣らすなどの馴化を行いたいです。新葉が展開し始めている場合、いきなり直射日光には当てないで、1週間ほど半日陰で管理し、慣らしていきます。室内である程度の生長をさせている場合は、低温に対する耐性が低いので6月入った頃まで待っても良いでしょう。

6月に入ると気温も安定し、フクシアにとって最も良い季節を迎えます。十分に光に当て、施肥を行い、水も乾かさないように与え続けます。早めに生長を開始させていたものには是非、摘芯を行ってください。置肥は7月中旬に切れるようなタイミングで行うと良いです。

	剪定、植え替え	挿し木	摘芯	灌水	施肥	遮光
適度な環境あり	—	○	◎	◎	◎	×
適度な環境なし	◎	○	○	◎	◎	×

## 夏の管理（7～8月） 開花期、生長期

7月に入ってもすすくと生長を続け、生長開始が遅れたものでも多くが開花し始めます。7月上中旬は比較的涼しい傾向があるので、6月と同じ管理をします。ただし、摘芯は行わないようにします。7月下旬から8月にかけては30℃近い温度の続くことが多いです。高温時には、明るい半日陰へ移すなど特に昼以降の直射日光を避けるように対処します。鉢も一回り大きな鉢でカバーするなど、対策を施します。肥料は与えない又は薄い液肥程度とします。灌水もやや控え気味にします。

特に、昼間の水やりは避けるようにします。万が一、萎れが頻発した場合は、根腐れの可能性が高く、そのままでは枯死に至る場合もありますので、植え替えを行います。植え替えの際は、必要以上に根鉢を崩さないよう、丁寧に腐った根を取り除き、植え替えやすさを優先して一回り大きな鉢を使います。腐れの状態がひどい場合は同じ鉢でも作業できるでしょう。いずれの場合も花はもちろん取り除くとともに、軽く剪定して根の負担を軽減し、日陰へ置いてしばらく養生してください。根詰まりしている場合は、根を動かさないでそのまま大きな鉢へ植え込む「鉢ゆるめ」を行っても良いでしょう。

花から取りや枯れ葉取りの作業が最も多くなるのもこの時期です。病害発生も起こりやすい時期なので、まめに行うようにします。

挿し木は室内では可能ですが、できればこの時期は避けたいものです。

	剪定、植え替え	挿し木	摘芯	灌水	施肥	遮光
戸外栽培	△	△	×	○～△	○～△	○



黄化した葉は速やかに取り除く



地面に落ちた葉は病害の温床となるので注意したい



花がら取りは、子房（種のできる部分）を摘み取るように行うと良い

## 秋の管理（9～10月） 開花、生長期～生長停止期

9月に入ると涼しくなり、再び充実した枝葉が出て大きな花を咲かせます。光にも当て、施肥や水やりも十分に行います。挿し木は冬季間に好条件を用意できる場合に行います。ハウス管理できる場合は、ある程度の株に仕立てることができます。さらに、冬季中に好条件がなく、来春に備えて少しでも生長させておきたい場合に行いますが、低温となる前に十分に根を張らせておくことが肝要です。

10月中旬頃になると室内へ取り込みます。大きく茂った枝葉はじゃまとなりますので、必要に応じて刈り込んでしまいます。本格的な剪定は行いません。特に、10℃以上ある場所では、新芽が徒長してしまいます。従って、剪定した姿より2回り大きくなる程度にラフに刈り込むのです。

	剪定、植え替え	挿し木	摘芯	灌水	施肥	遮光
戸外栽培～室内	—	○	×	○	○	×

# フクシアの挿し木繁殖と苗作り

長い年月に渡ってフクシアを育てていく場合、挿し木繁殖は必ず行いたい作業です。理由は以下の通りです。

- ・ほとんどが大型化するので、家庭での管理に適した大きさを維持するためには、剪定だけでは不十分で、定期的な更新を行う必要がある。
- ・ハンギングバスケットや寄せ植えに使用する場合は、新たに苗を作った方が使いやすい。
- ・貴重な品種は枯死する場合に備えて複数の株を保持しておきたい。

フクシアの挿し木はそれほど難しくありません。木化した部分を挿木することも可能ですが、先端部の若い枝を挿すのが最も一般的です。若い枝は発根が早く、側枝を発生させる能力も高いのでコンパクトな草姿の株を作るのにも適しています。発根適温は20℃前後です。真夏でも涼しい室内でなら挿し木が可能ですが、発根後の管理を考えると春以降に生育期間を十分に確保できる冬中に行うのが最適でしょう。

## 挿し木

### 1. 挿し穂の採取

節間（節と節の間の部分。）の締まった枝を選んで、鋭利なはさみやカッターを用い、3~4節確保して枝を切ります（先端部を摘み取るので実際は2~3節挿木することになる）。最下位節（一番下の節の部分）より0.5~1cm程度枝をつけて切る方が良いです（あまり長くなり過ぎないように注意する）。



最下位節の少し下を切り取って挿し穂を採取する



葉の面積を半分程度には減らす。最下位節の葉は完全に切り除いた

### 2. 葉の切除

発根するまでは茎の切断面からのみの吸水となります。葉の量が多すぎると、葉表面から失われる水分が多く挿し穂が弱ってしまいます。従って、全体の半分~2/3の葉を切除したいところです。



芽の先端部を取り除く



挿し穂の調整が終了した状態

### 3. 先端部の摘み取り

コンパクトな草姿を作るには、先端部を切除した方が良いです。また、茎の先端部は乾燥に対して最も弱いので、柔らかいので手やはさみで取り除きます。

### 4. 挿し穂の完成

挿し穂調整終了。最下位節の葉は完全に切り除きました。その上2節についても半分程度まで葉を切り取りました。従って、3節の枝を挿し木することになります。

## 5. 水上げ

挿し穂調整した挿し穂は挿す前に1~2時間程度水につけて十分に吸水させてください。

## 6. 挿し木用土

無機質の清潔な用土を使用します。バーミキュライトとパーライトを1:1に混合した用土を勧めたいです。市販の挿し木用土でも十分です。



水上げを室内や日陰で行う



用土は清潔なものを使用したい

## 7. 水やり

前もって用土を十分に湿らせておきます。挿し穂は一時でも乾かさないようにしたいです。また、挿し木後に強い水やりを行って挿し穂がわずかでも傾くと、切り口と用土が密着しなくなるので発根が遅れたり、時には枯死することもあります。



前もって用土を湿らせておく

## 8. 発根剤

必要あればホームセンターや園芸店で販売されている発根剤を使っても良いです。しかし、無理に使わなくても十分に発根するので、自分の技術で発根させてみてください。

## 9. 挿す

切り口を傷めないように細い棒を使って穴をあけ挿していきます。切り口と用土が触れないくらい深い穴をあけないように注意します。水はけの良い用土を使用している場合、やや深挿しの方が乾燥によるしおれを回避できるので安心できます。今回は、挿し穂の1/2程度を用土に埋めました。



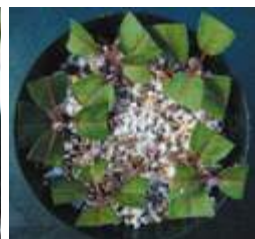
発根剤を使っても良い

## 10. 鉢の周囲に

挿し穂が少量の場合、鉢の比較的周囲に沿って挿した方が通気性良く、過湿による腐敗などを防止できます。また、中心に比べて挿しやすいです。



切断面を傷つけないように挿す



中心よりやや外側よりに挿すと良い

## 11. 水やり

挿し穂に圧力を加えないように優しく水やりを行います。挿し木後の優しい水やりは用土内の細かい粒子の移動により、切り口と用土の密着を高めてくれます。



鉢底から与えても良い



乾燥しないように注意する

## 12. しおれ防止対策

特に乾燥した室内で挿し木を行う場合は、しおれ防止のためにビニール等

で湿度の維持に努めたいです。今回は、針金を渡してビニールで包んでみました。また、発根するまでなら受け皿に水をためて乾燥を防ぐのも良いです。

### 13. 完成

気温によって発根までの期間は大きく異なるのですが、20℃前後でなら2～3週間で発根し始めます。



完成。直射日光に当てないように管理する

## 鉢上げ

### 1. 鉢上げのタイミング

鉢上げのタイミングは「根がからみ合わないうちに」が基本となります。

鉢上げ時には、例え目に見えなくとも根が傷んでしまいます。早すぎると、まだ根の量が少ないがゆえに、傷を受けた根の割合は高くなるわけですから、活着は遅れ鉢上げ後の管理も難しくなります。一方で遅すぎると根がからみ合って大きな傷を受ける上に、せっかくの生育期間をまるまる損してしまうこととなります。根が2cm程度伸びれば十分に鉢上げ可能です。これは、茎を引っ張った時に少し抵抗を感じる程度の根の張り具合です。最初は、引っ張ったり、時々土を掘って根の張り具合を確認すると勘がつかめるでしょう。



発根した状態。ここまで伸びれば鉢上げできる

### 2. 鉢上げ

最初は2.0～2.5寸（6.0～7.5cm）程度のポットに鉢上げするのが程良いです。用土は植え替え用土と同じで結構です。この程度の大きさなら鉢底のゴロは不要です。鉢上げ時に気を付けたいことは、最下位節を地際近くにする、または土に埋めてしまうことです。指で示している側芽の見える部分が最下位節ですが、コンパクトな草姿を作るには大切です。地際付近から枝を放射状に伸ばしていくことは鉢ものづくりの基本です。挿し木の項目で最下位節以下の茎が長くなりすぎないようにと述べましたが、このように鉢上げを行うためです。



最下位節が地際にくる程度（少々埋まっても良い）の深さで植えるとその後の生育も良くなる。

## フクシアの摘芯

枝数を増やすためには必ず行いたい作業です。品種にもよりますが最高気温が25℃近くなる時期までが適期で、家庭環境によって早春から6月中旬頃までは可能でしょう。高温時は枝がほとんど伸びないうちに



生育期間を無駄にしないよう、早め早めに摘芯する



○で囲んだ葉の小さな先端部を摘芯すると側枝は望ましい方向に出る

開花してしまうので夏場は避け  
ます。2〜3節ごとに先端部  
を摘み取って側芽の発生を促  
します。この際注意したいの  
は、葉が互生となっていない  
ことです。先述の通り、本来  
は対生となる品種でも、環境  
条件では互生になることがあ  
ります。互生だと側枝が一本  
しか出ない場合もありますの



高温時に摘芯すると側枝が伸び  
ないうちにつぼみが出てしまう  
(写真はイメージで夏に撮影し  
たものではありません)



円で囲まれた枝の葉は互生し  
ている。写真の通り摘芯する  
ことで枝数の少ない写真左側  
の部分に側芽を誘導できる。

で、対生となっていることを確認して摘芯を行います。さらに厳密に行うならば、葉の方向に注意して行います。

つまり、株の中心と（一对を形成する2枚の）葉の先端が三角形を作る節を残して摘み取ります（写真）と、草姿を作る上で望ましい方向に枝を伸ばしてくれます。仮に対生となる節が確認できない場合でも、摘芯を行った方が良いです。枝に力があれば二本の側枝を発生させることがあります。ただ、一本しか出ない場合も多いので、最上位節からの側芽が望ましい方向（例えば、枝数の少ない部分へ伸びてくれるような方向）へ伸びるような位置で摘芯すると良いでしょう（写真参照）。家庭環境により摘芯の可能な回数は異なりますが、鉢仕立てする場合3〜4回行えばある程度大きな株となります。環境に恵まれなくても2〜3年かければ、立派な株を作ることができます。

## 鉢ゆるめ

株が大きくなるに従い、鉢を大きくしていきます。摘芯によって地上部の量が増えると、その分必要な根の量も多くなります。根が回り切らないうちに植え替えることが大切です。2〜2.5寸から4寸さらには6寸へとゆるめていきます。6寸くらいまでなると、鉢底に排水性を高めるためのゴロを敷くようにしたいです。



鉢ゆるめのタイミング。左は根が回っておらず時期尚早、右は根が鉢底まで張っており生育期間を無駄にしている。真ん中は張り過ぎず、土も崩れない程よい状態。

# フクシアの仕立て

## 鉢仕立て

まずは最も一般的な鉢仕立て（玉仕立て）についてです。どのような品種でも仕立てることができますが、最も大事なことは、きちんと剪定を行うことです。多くの枝を発生させるほどコンパクトな草姿となります。剪定の時期は生長を開始させる時期に行います。室内で生長させる場合は温かい部屋へ置く前に、屋外へ出すまで低温下へ置く場合は、屋外へ出す前に行います。

### 1. 剪定前の株の状態

今回は、品種キューティの大株を剪定します。

### 2. 前年枝、当年枝の確認

コンパクトな草姿を維持するためには、できるだけ切り戻すことが最適です。従って、枝を発生させやすい当年枝（前回の開花期終了後の剪定で発生した枝）の下位（最低1節残し）で切ることが基本となります。まずは、当年枝の確認を行います。摘芯している場合は見分けにくく、できれば前回の摘芯回数を覚えておきたいものです。

### 3. 逆枝、弱枝の除去

逆枝（株の内側に向かって伸びた枝）や弱枝（他の枝と比較して十分に充実しなかった枝）は取り除きます。逆枝は株のバランスを崩します。弱枝からは力強い枝の発生を期待できません。しかし、枝の除去によって大きな空白部分ができるしまう場合は残してください。

### 4. 剪定

剪定を始める前にみなさんがその鉢のピークにもっていきたい時期（概ね夏～秋となります）にどこまで枝が伸びるかを予想してみてください。その時期に格好がつく

逆枝（写真左）や弱枝は切除する

姿となる位置で剪定します。前回の剪定位置を覚えていれば、その予想はあまり難しくないでしょう。また、切り戻す位置は、鉢の大きさにもよります。大きな鉢にゆるめる場合は、そのままの鉢とするより浅く切り戻すこととなります。さらに、開花までの生育期間によっても変わってきます。例えば、日当たりのとても良いスペースがあれば冬季中に生長させることができるので、強気の切り戻しもできます。初めて扱う株の場合は、鉢の内



剪定前の株。思いきって切り戻したい。



当年枝と前年枝を確認する



節の上0.5~1cmの位置ではさみを入れていきたい

側に枝先が来るように切れれば無難だと思います。

写真の株は昨年、ハウス内で管理していましたが、剪定後に2回の摘芯を行い、最後に出た枝もかなり充実したものとなりました。上部で枝が切られ、細い枝が出ておりますが、夏場に管理上の理由で切ったものですので、無視してください。

今回は家庭での管理を想定し、枝の生育期間がやや短くとなると考えて、やや上部で剪定します。もちろん、良い環境を準備できる場合はもっと切っても構いません。全体的に半円形となるように剪定しますが、最初に株の中心部（剪定後の枝の位置が最も高くなる）の剪定位置を決定します。

位置を決めたら、半円形を描いてみて、他の枝について前年枝まで切り戻さなくて良い位置なのかを確認して下さい。もし、半円形上に切ると、当年枝がかなりなくなってしまうような位置ならば、もう少し高い位置から切るように修正して下さい。

今はさみを入れている位置は（前ページ写真）最後（最終摘芯後）に出た枝ですが、この品種は葉のつき方が対生でしたので、そこで切ると2本の枝が出ると予想されます。つまり、（逆枝や弱枝の除去を差し引いても）昨年の倍近くの枝数となることになります。摘芯しなくとも、十分な枝数が確保されそうだと（逆に枝抜きが必要なくらいかも）と期待できます。もちろん、半円形に切ってもすべて当年枝で剪定できることを目視で確認しました。ここまで来れば、一気に切ってしまいます。

## 5. 切り終わり

かなりすっきりしました。枝が鉢からはみ出していますが、背の高い鉢を使用していることを考慮し、下まで枝を垂らせるために少し長めとしました。全体的に枝も配分されているようです。枝の集中している部分があれば、枝を抜いても構いません。

## 6. 細かい枝葉の整理

小さな枝や葉が残った場合はすべて取り除いてください。小さな枝は充実させる意味がありません。葉もすべて取り除くのは病気や害虫を残さない意味があります。

## 7. 完成

すべての作業が終了しました。なお、同時に植え替えを行います。



中心部が高くなるように、全体に丸みを帯びるように、また節の位置を確認しながら切った



細かい枝や葉を取り除く



完成

## 8. 剪定後の萌芽状況

剪定後しばらくして、側芽が出てきました。一本の枝から2本の側芽の発生を予想できましたが、実際は3本出ているものがあったり、1本しか出ているものがあったりします。株全体にバランス良く枝が配分されておらず、枝の少ない部分が生じた場合は、摘芯によって枝数を増やしても良いでしょう。密集している場合は、芽を摘み取っても構いません。摘み取る場合は、必要のない方向へ伸びようとしている芽を摘むように確認して下さい。さらに、生長期間に余裕のある場合は、全体的に摘芯を行ってさらなる大株を目指しても良いでしょう。



剪定後の萌芽の様子



枝数の多い場合は摘み取っても良い

### 【参考1】開花の状況

これは、今回剪定した株が花盛りであった時期のものです。今回の剪定によって、御家庭でも同じように開花することでしょう。

### 【参考2】鉢サイズによる剪定位置の変化

左は同じ緑色の鉢で管理することを決めて剪定したものです。右は緑の鉢から写っているテラコッタ鉢へゆるめることを決めて剪定したものです。



【参考2】



【参考1】

### 【参考3】樹勢の回復

これは、枝葉が少なくなり生育の芳しくなかったものを植え替え、剪定、摘芯して回復させたものです。お持ちのフクシアが弱っていたり、形が崩れていても立て直すことができます。



【参考3】

## ハンギングバスケット仕立て

枝が横に伸びる（下垂性）品種が仕立てやすいです。極大輪の品種が典型的です。ハンギングバスケットへの利用は、3号（9cm）から大きくても4号（12cm）ポットに

育てた株を植え込みます。単独で用いる場合と他の植物を組み合わせる場合とがあります。いずれにせよ、コンパクトに仕上げる鉢仕立てと異なり、少々枝を暴れさせた方が雰囲気は出ます。従って、最終摘芯後に出た枝を伸ばす時間が必要となります。もちろん枝数も欲しいですので、挿



見応えある株にするには最終摘芯を早めに行って、枝を充実させる時間が必要になる



左の写真の展示後の枝ぶり。1株から得られる充実した枝は限られるので、3株を寄せ植えしていた。

し木からの育成期間は比較的長くなります。ハウスを使って写真のようなバスケットを作る場合、遅くとも晩秋には挿し木を行い、冬季中も加温によって苗を育成する必要があります。従って、御家庭でハンギング用の苗を作る場合は、例えば前年の夏前には挿し木を行い、夏～秋のうちに枝数を増やしておけば良いでしょう。そして、その苗を冬季中は低温下で管理し、2～3月から生長を再開させます。この時期になると基本的に摘芯は行わず、枝を伸ばしていきます。ハンギングへは下垂性の品種を用いることもあり、徒長の影響は鉢仕立てほどはありません。御家庭の環境によって挿し木や生長を再開させる時期は様々となりますが、バスケットへの植え込み期に3～4号程度の仕上がりととなる栽培計画を立ててみてください。



球根ベゴニアとの組合せ



軒先などでは夏場の強光を避けることができる

## スタンダード仕立て

下垂性でなければ適しています。枝が上に伸びる傾向の強い品種はほうきを逆さまにしたような草姿（アップライト型）となります。わずかに流通しているスタンダード仕立ては輸送性の点からアップライト型の品種となっていますが、一般のスタンダードのイメージとは離れているかもしれません。

スタンダード仕立てはそれほど難しくありませんが、やや時間を要しますので、気長に作っていきます。頂芽（先端部）をひたすら伸ばしていくので、挿し木から始めていきます。

### 1. 挿し木

先端部をつけたまま挿し木します。まっすぐの枝を選び、地際からの側芽を抑えるために節のすぐ上で切除し、最下位節から少しでも茎をつけた挿し穂を採取します。少しでも早く仕上げるためにできるだけ長い挿し穂を取ります。15cmくらいなら十分挿し木可能です。挿し木の仕方は、鉢仕立てとは正反対となります。葉を取り除いて水分の損失を抑える作業は同じです。

### 2. 鉢上げ、支柱

鉢上げは節を埋めないように行いま



長めの挿し穂を先端部をつけたまま挿し木する



最下位節を埋めると分枝が盛んになってしまう



枝が曲がらないように支柱する



支柱を固定しておく。大きくなるほど支柱が必要となる

す。枝をまっすぐに伸ばすために支柱を施します。

### 3. 支柱の取り替え

株が大きくなってきたら、支柱を取り替えます。最上部が重くなるので、間違っても風などで倒れないようにしっかりと支柱します。屋外の場合、支柱を支えるさらなる支柱が必要となります。生長に応じて支柱も太いものに替えていきます。枝はビニタイなどでとめていきますが、生長期はぐんぐんと太っていきますので、食い込まないように定期的に巻き直します。必要な高さまでひたすら伸ばしていきます。管理体制によって大きく変わりますが、高めのスタンダードを作る場合、数年を要します。

### 4. 側芽とり、花摘み

生長中に側芽が出てきますがすべて摘み取ります。生長をすべて先端部に集中させることが大切です。ただ、葉は自然に落ちるまで残してください。スタンダード仕立ては側芽の切除によって枝（主幹）は太くなり切れません（すらっとしているからこそ観賞価値があるわけですが）が、葉を残すことによって枝（主幹）の充実をはかることができます。頂芽にできた蕾も大きくなる前にひたすら摘み取っていきます。こうすることで、思った以上に早く枝を伸ばすことができるのです。



側芽は速やかに除去する。花も咲かせず枝の生長を優先する

### 5. 頂芽の摘芯

予定した高さまで達するとようやく頂芽を摘み取ることができます。

### 6. 側芽の発生と摘芯

頂芽を摘み取ると、すぐに側芽が発生してきます。スタンダードの高さにもよりますが、概ね3～4節程度、葉が互生となっている場合は5～6節程度から側芽を出させて育てていきます。

それ以外の芽は摘み取ります。発生した側芽は2～3節毎に摘芯していきます。摘芯方法は先述した苗作りの摘芯と同じです。

管理体制によっては数年かけて冬～春の剪定、その後の摘芯を繰り返し、充実した側枝を作り上げていきます。枝を長く伸ばすと霧囲気が出ますので、株が仕上がったら最終摘芯または剪定を鉢仕立てより少し早めに行いたいです。剪定方法に関しては、基本的に鉢仕立てと同じです。



必要な高さに達したら先端の芽を摘み取る



側芽を発生させて摘芯を繰り返していく

【参考1】4年目の株。高さは150cm程度。しばらく育成を続けると充実した株となる。

【参考2】地際から枝を出して仕立てることもできる。

この場合、上部を仕上げてから地際からの側芽を待つようにしなければならない。また、下部を茂らせすぎると上部の生長が衰えてしまう。地際からの芽は栄養状態が良いと比較的出やすい。

【参考3】完成したスタンダード仕立て株の剪定状況とその開花状況



【参考1】4年目の株。側芽も充実し傘状になりつつある



【参考2】地際でも仕立てる場合は、茂らせ過ぎないように注意



【参考3】左：剪定状況、右：開花状況

# フクシアの植え替え

フクシアは根張りが良いとともに、根詰まりした時の生長の低下は著しいので毎年  
の植え替えを行います。特別に難しい作業ではありませんが、以上のことを考慮して、根  
を思いきり切り、新たに根を張るスペースを作ってやるのが大切となります。植え替  
えは、剪定と同時に行う作業なので、地上部の葉はほとんどなく、根の減少による枯死  
の心配はほとんどありません。根を大きく切ることによって、生育の遅延も心配されま  
すが、根の生長力のあるフクシアにおいては、そのデメリットよりも十分な根張りス  
ペースの確保による利益の方が大きいです。大きな鉢に植え替える場合は、2回りほど大  
きな鉢を用いますが、その場合、新たなスペースが十分確保されますので、大きく根を  
崩す必要はありません。

今回は、同じ大きさの鉢で植え替えを行います。

## 1. 根鉢の状況

これは、植え替え  
る1年前に挿し木を  
行い鉢仕立てした株  
です。根は鉢の周囲  
を取り巻いていま  
すが、非常に健全  
です。根が褐変して  
いる場合は、問答  
無用に根を十分崩  
す必要があります。



今回植え替える株。根  
はかなり回っている



健全な根（左）と褐変した根（右）



## 2. 根を崩していく

ドライバーやはさ  
みなどを使い丁寧  
に根鉢を崩してい  
きます。ほぐれたら  
手でさらにほぐし  
、古い土を落とす  
ます。



まずは、根を崩し



古い土を落とす



思いきって土を落とした

## 3. 根の切除

根をほぐしたら、細根をはさみで  
切ります。この際、太い根を残すよ  
うに注意します。太い根は新たな細  
根を発生させるために重要です。



太い根は残したい



根鉢はかなり小さくなった

## 4. 根の調整終了

根の調整が終了しました。根の容

積は1/3程度まで小さくなっています。ただし、スタンダード仕立てや大鉢仕立ての場合は半分程度にとどめた方が無難です。

## 5. 下層の土入れ

鉢底に排水良くするためのゴロを入れます。今回は6号鉢（直径18cm）に植えますが、2cmくらいはゴロを入れたいです。ゴロの上に用土を少量入れます。



排水層を確保して用土を入れる

## 6. 植え付け

枝がバランス良く配置されるように株の位置を決め、用土を入れていきます。途中でトントンと鉢を上下させたり、指で軽く押しながら隙間のないように詰めていきます。あまり強く指で押さないように注意してください。土が固くならないように優しく詰めていくことが大切です。



枝が左右均等となるように配置を決める

【参考1】両方とも6号鉢に植えていた株です。左側は今回植え替えた株。右側は鉢を2回り以上大きくして植え替える予定の株です。鉢の大きさに応じて、根の崩す程度を変えます。

【参考2】今回植え変えた株の萌芽状況です。根をかなり崩しましたが元気に側枝を出してきました。



〔参考1〕 植え付ける鉢によって根鉢の大きさも変える



〔参考2〕 植え替え後の萌芽。新根の発生力はとても強い

# フクシアの病虫害

フクシアに付く害虫や病気には以下のようなものが知られています。発生を確認したら速やかに防除したいものです。

## 害 虫

### (1) アブラムシ

アブラムシは初夏から秋にかけて発生します。ウイルス病を媒介するとともに、多発すると花が小さくなったり、時には開花しないこともあります。毎年発生する場合は、発生前から市販のアブラムシ用粒剤などで予防すると良いでしょう。

### (2) スリップス (アザミウマ)

開花中に発生します。花に付きやすく、吸汁します。それ程多発することはなく、直接的な被害を感じることは少ないのですが、ウイルス病を媒介するので注意が必要です。フクシアのウイルス病には深く関与していることが知られています。アブラムシ同様に予防に重点をおきましょう。

### (3) コナジラミ

害虫の中ではもっとも厄介です。化学農薬を使っても完全に抑えることは難しいです。従って、手で取り除いて徐々に減らしていくと良いでしょう。葉水をするることによっても減らすことができます。



コナジラミ

## 病 気

### (1) ウイルス病

もっとも厄介な病気です。白や淡い紫など原種とは趣の異なる花色を持つ品種は抵抗性が低いのか発生しやすいようです。他の植物同様に治療することは不可能です。販売されている苗の多くがウイルスを保有していると考えられます。従って、症状を出させないように健全な管理をすることが大切です。さらに、アブラムシやスリップスを発生させないことが大切です。葉と葉が触れることによっても感染しますので、症状がひどくなった株はすっぱりと捨ててしまいます。



赤紫の斑点がついたり、モザイク状を呈したり、葉が萎縮するなどの症状が出る



赤紫の斑点がついたり、モザイク状を呈したり、葉が萎縮するなどの症状が出る

### (2) さび病

色鮮やかな斑点ができるのでわかりやすいです。一部の品種のみに発生するようです。農薬によっても治療できませんが、木酢や酸性水でも症状がおさまるようです。



さび病

### (3) 灰色カビ病

春や秋の低温期に発生することが多いようです。花がらや枯れ葉といった残渣に発生するので常に手入れを怠らないことが大切です。また、湿度の高い場合に挿し穂に発生しやすいです。こちらは致命傷となることもあるので注意が必要です。農薬によって抑え込むこともできますが、風通し良く管理すればさほど心配する必要はないでしょう。



### (4) すず病

アブラムシやコナジラミの老廃物に発生します。植物に対する影響はそれほど大きくないものの、見た目がとても悪くなる病気です。アブラムシ、コナジラミを発生させないことが大切です。発生部位を洗い流せば結構きれいになります。



# 耐寒性フクシア

南米の最南端まで自生するマゼラニカは道南、道央での越冬が可能です。花の少なくなる夏から晩秋にかけて開花する耐寒性植物は貴重です。また、鉢もの扱いする他の品種と比べても耐病性がありますので、花壇の個性の演出に一役買ってくれる存在となるでしょう。しかし、越冬の状況は完全なものではなく、ヨーロッパでは木本として生垣にも使っているのに対し、札幌では地上部が枯れることも多く、地際が生き残る宿根草のような生長を繰り返します。従って、低性～中性の宿根草として扱うのが適当でしょう。

## マゼラニカの種類

マゼラニカは多くの変種が知られています。また、品種も作られています。それらの一部について紹介します。

### (1) マゼラニカ ウェルシコロル

(*F. magellanica* var. *versicolor*)

葉全体が淡い緑色をしており、縁には白い斑の入る種類です。濃い花色と対照的です。



ウェルシコロル

### (2) マゼラニカ アルバ (*F. magellanica* var. *alba*)

花色は非常に淡いピンクをしています。この優しい色が一番の特徴なのですが、開花はやや遅く、アブラムシのつきやすいことが難点です。



アルバ



グラキリス

### (3) マゼラニカ グラキリス

(*F. magellanica* var. *glaciensis*)

葉はやや小ぶりです。最も特徴的なのが開花の早さです。長日への感応が最も敏感なようで、長期間開花してくれます。



ローガンウッズ



ローガンウッズ

### (4) マゼラニカ ローガンウッズ

(*F. magellanica*

cv. *Logan Woods*)

がく片の先端が緑がかっており、一番の特徴となっています。開花はやや遅めです。アブラムシのつきやすいところが難点です。

### (5) マゼラニカ ロングペデュンクラタ

(*F. magellanica* cv. *Longipedunculata*)

葉はやや大きいです。開花の早さは中くらいでしょうか。最も特徴なのは害虫に対する抵抗性です。なぜかこの種類に



ロングペデュンクラタ

はアブラムシが全くとって良いほどつきません。

## (6) マゼラニカ オーレア (F.magellanica cv.Aurea)

黄葉を持つ品種です。きれいな色を出すには日当たり良く管理した方が良いです。カラーリーフプランツとしての価値も十分にあります。花はいたって普通です。



オーレア

## マゼラニカの屋外での管理

### (1) 植え付け場所

日当たり良い～明るい半日陰の場所に適しています。生育開始の遅さを補うためには直射日光に当たった方が良いでしょう。また、春から半日陰では枝が立ち上がりず横に伸びてしまいます。さらに、夏場の直射日光下においても萎れることはありません。本州でも比較的夏越しのしやすい種類ですので、マゼラニカ自身耐暑性も兼ね備えているのに加えて、鉢ものと違い地温の安定も直射日光下での栽培を容易にしているでしょう。

用土については水はけを良くして下さい。水のたまるような場所では越冬できません。

### (2) 春の管理

植え替えを行うなら気温の上がってくる5月初旬がベストでしょう。場所を移動する時のみ植え替えます。一般的に宿根草は秋に行いますが、耐寒性が十二分とは言えないマゼラニカの場合、秋の根の切断が越冬を妨げる要因となり得ます。また、生育開始時期が遅いことは、春の植え替えをしやすくしています。植え替えの際には太い根を傷めないように大きく掘り取って下さい。

5月下旬から6月の初めにかけて萌芽してきます。萌芽すれば枯れ枝を確認できるので切り取ります。地植えの場合、施肥については賛否両論ありますが、与えた方が生長は早まります。速効性の化成肥料を与えて下さい。ただ、窒素肥料の与え過ぎはアブラムシが発生する要因となりますので注意して下さい。

### (3) 夏の管理

花から取りはできるだけ行います。しかし、小輪で多花性のためなかなか大変な作業です。時間のない場合は、枝を揺すって地面に落とし、表土ごとかき集めるようにすれば多少軽減されます。8月下旬に硫酸カリを施肥すれば越冬に有利に働きます。すぐに溶ける肥料なので2～3週間ほど間をあけてもう一度与えると効果的です。



6月初めの萌芽状況。忘れた頃に出てくるので注意したい

### (4) 晩秋の管理

マゼラニカは霜が降りるまで開花し続けます。霜が降りると葉は枯れますが、できるだけ枝を切らずにそのままにして下さい。寒風の当たらない場所ならば地上部もある程度生き残ります。

## いろいろな品種



**ティンカーベル (Tinker Bell)**

一重咲き。小輪で白に近い薄ピンクの花が鈴なりに咲く様が可愛い。人気のハンギング向き品種。やや病気に弱い。



**ホリーズビューティー (Holly's Beauty)**

八重咲き。先端のフリルと青に近い薄紫が上品。真夏は半日陰がよいようだ。



**ミセスラベルスウィッシャー (Mrs. Lovell Swisher)**

小ぶりでシャープな印象の花は暑い夏も途切れずに咲き続ける。



**ジャンボディーブパープル (Jumbo Deep Purple)**

大輪八重咲き。大きな花が次々咲くので、一際目立つ。人気のハンギング向き品種。



**ミス カリフォルニア (Miss California)**

半八重咲き。やさしい色合いの花。ハンギングだけでなく株仕立てにも向く。



**ピンク マシュマロ (Pink Marshmallow)**

大輪八重咲き。ポテッとした薄ピンクの花と蕾が可愛い。ハンギング向き。



**チャイナランタン (China Lantern)**

一重咲き。サーモンピンクの花色が珍しい。スタンダード向き。



**チャーミング (Charming)**

一重咲き。ありふれた色だが花付きがよい品種で、開花期間の長さは随一。



**ロルトズルビー (Rolt's Ruby)**

八重咲き。大ぶりのベルベット様の濃紫色の花弁がとても印象的で、目を引く品種。



**ホワイトピクシー (White Pixie)**

葉は黄緑色で花が映えて涼しげ。ハンギングにも向く。生長早く、花つきが良い。



**ニューウエルト (Neue Welt)**

一重咲き。細身の花が暑い夏にも負けず、咲き続ける。



**クローバーデイルパール (Cloverdale Pearl)**

一重咲きで優しい色合い。花付きがよく、形が作りやすい。スタンダード向き。



### ビリーグリーン (Billy Green)

直立性。漏斗状のオレンジ色の花は暑さに強い。頂芽咲きのトリフィラ系品種。



### ベイビーチャン (Baby Chang)

極小輪のハンギング向き品種。花付きがよく、耐暑性がある。周年開花性で生長も旺盛。



### ブライアン C. モリソン (Brian C. Morrison)

暑い夏でも咲き続ける大輪トリフィラ系品種。ハンギング向き。



### ブライアンブレアリー (Bryan Breary)

極小輪。分枝性が強く、摘芯いらず。ピンクの花がひっそり咲く様がかわいらしい。



### ホワイトナイトルビー (White Knight's Ruby)

直立性。鉢仕立て向き。濃赤色で横向きに咲く珍しい品種。



### ロッティーホビー (Lottie Hobby)

極小輪。分枝性が強く、摘芯いらず。好きな形に仕立てる楽しみがある品種。周年開花性。



**キューティー (Cutie)**

一重咲き。霞みがかった紫色に濃い縁取りの付いた花が特徴的。ハンギング向き。



**ビセンテナル (Bicentennial)**

八重咲き。花弁にサーモンピンクの絞り模様が入る。ハンギング、スタンダード向き。



**コルディングパール (Kolding Perle)**

直立性・一重咲き。ガクと花弁のコントラストがよい。鉢仕立て向き。



**コンステレーション (Constellation)**

八重咲き。真っ白で清楚な花はハンギング向き。病気に弱いのが玉にキズ。



**ヴァリエゲイテッドロッチェホビー (Variegated Lottie Hobby)**

極小輪一重咲き。自然に広がって垂れ下がる。斑入りの小葉と小さな花が涼しげ。



**チラトンビューティー (Chillerton Beauty)**

一重咲き。濃紫色の花弁が凛とした雰囲気を出している。スタンダード向き。



### サーカスパングルス (Circus Spangles)

大輪八重咲き。花弁に薄ピンクの絞り模様が  
入る。ハンギングに向く。



### オータムナーレ (Autumnale)

新葉が黄緑から濃赤色～サーモンイエローに  
変化する。寄せ植えの材料によい。



### スノーフレイク (Snowflake)

極小輪。枝がやや暴れやすいが、純白の花が  
ひっそり咲く様が可愛らしい。



### ハッピー (Happy)

小輪一重咲き。直立性で、自然とこんもりと  
した草姿になる。花付きがとともよい。



### フェイ (Fey)

八重咲き。光沢のある白いガクに薄紫の花弁  
は清楚な雰囲気。ハンギングに向く。



### ピンクゴーン (Pink Goon)

八重咲き。花弁はお姫様がドレスを着てるか  
のような。ハンギング向き。



**プレストンギルド (Preston Guild)**

一重咲き。直立性で株仕立てに向く品種。白のガクと薄紫色の花弁が上品。



**ハッピーフェロー (Happy Fellow)**

一重咲き。多くの品種と異なり、それぞれの花弁が筒状になる。周年開花性。



**ホークシード (Hawksheed)**

小輪一重咲き。ガクの先端は緑がかかる。株仕立てかスタンダードにしても面白い。



**ニューファッシネーション (New Fascination)**

大輪八重咲き。花弁に濃ピンクの筋が入る。大株にすると見応えがする。



**シャインカール (Shine Curl)**

一重咲き。ガクのねじれが花ごとに違って可愛らしい。ハンギング向き。



**ペパーミントキャンディ (Peppermint Candy)**

大輪八重咲き。ピンクの絞りの入る花弁はボリュームあり。ハンギング向き。



### ビーコン (Beacon)

一重咲き。耐暑性が強く、周年開花する。ハンギングの他、色々な仕立てができる。



### キャサリナ (Catharina)

トリフィラ系の中でも特に、暑い夏も長く咲き続ける。細身の花が沢山垂れ下がる。



### バーバラ (Barbara)

一重咲き。花付きがよく、形が作りやすい。ハンギング向き。耐暑性あり。

# 財団法人札幌市公園緑化協会の 環境マネジメントシステム

— ISO14001の認証を維持しています —

財団法人札幌市公園緑化協会は、札幌市の公園緑地の良好な管理運営と緑化の普及啓発を図り、市民に快適な生活環境を提供するため事業を行います。私たち一人ひとは、かけがえのない地球の構成員として「緑」の創出・保全を図り、地球環境の維持と改善に最大限努力いたします。

この運営の基本的仕組みとして、環境マネジメントシステムISO14001を活用いたします。

財団法人札幌市公園緑化協会環境方針を基に

2008年度の目的・目標を設定しその達成に向けた取組を実施しています

## 2008年度 環境目的・目標

### ■ 事業部門

- ・一般ゴミの排出量を削減する
- ・緑化及び自然環境に関する普及啓発のための講習会及び公園観察会などの参加者の増加を図る

### ■ オフィス部門

- ・電気使用量を削減する
- ・事務用品のグリーン購入率の向上を図る
- ・民有地緑化と市民の緑化意識の高揚を図るための事業を行う



# 財団法人 札幌市公園緑化協会 環境方針

## 基本理念

地球上で長い年月をかけて地上の酸素を供給し、また多様な生物の食物連鎖の要として生命の営みを支えてきたのは植物であり、「緑」です。私たち人間が生活を営む社会も、この「緑」を抜きにして語ることはできません。

人間社会は、産業革命以降、大きく変化し、特にこの数十年間に科学技術の進歩とともに社会全体が急速な発展をとげました。その結果、私たち人間の生活は機能的にも物質的にも豊かになりました。

しかし、人口の増加や人間活動の増大などによって資源やエネルギーの消費は急速に増加し、地球環境の復元力を上回る大量消費が、地球温暖化、砂漠化、酸性雨、海洋汚染、熱帯林の減少、野生生物種の減少など、環境問題を深刻化させています。

今すぐ私たちが環境問題を真剣に考え、行動を起こさないと、次世代の生存をも危うくしてしまいます。

財団法人札幌市公園緑化協会は、札幌市の公園緑地の良好な管理運営と緑化の普及啓発を図り、市民に快適な生活環境を提供するため事業を行います。私たち一人ひとは、かけがえない地球の構成員として「緑」の創出・保全を図り、地球環境の維持と改善に最大限努力いたします。

この運営の基本的仕組みとして、環境マネジメントシステムISO14001を活用いたします。

財団法人札幌市公園緑化協会は、「緑」を通じて快適な生活環境づくりに寄与していくうえで、日々の事業活動において環境負荷の少ない社会の形成に努めます。

### 1 環境経営の推進

環境マネジメントシステムを継続的に改善し、経営管理の一環として環境経営の推進に努めます。

### 2 環境マネジメントシステムの継続的改善

環境目的・目標を定め、その達成に努力するとともに、定期的な見直しを行うことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図っていきます。

### 3 環境意識の啓発

職員をはじめ、事業活動に関わる人々のほか、広く市民に対して、地球環境の大切さを啓発し、環境保全に対する意識の向上に努めます。

### 4 環境の維持・改善

事業活動とオフィス活動において、省資源・省エネルギー・廃棄物の削減に努め、また、環境に配慮した商品の調達と購入を推進し、環境負荷の低減、地球環境の維持・改善に努めます。

### 5 環境汚染に対する危機管理の徹底

事業活動に伴って生じる環境汚染及び事故を未然に防止するとともに環境関連の法令を順守し、環境汚染の危機管理を徹底します。

### 6 法的及びその他の要求事項の順守

環境側面に関係して適用される法的要求事項及び財団が同意するその他の要求事項を順守します。

この環境方針は全職員及び財団のために働く全ての人に周知徹底するとともに、外部に公表いたします。

2007年4月1日

財団法人札幌市公園緑化協会

理事長  
浅野 昭一郎



## 札幌市都市緑化基金

都市の緑は、私たちの生活に四季折々の季節感や心のゆとり、やすらぎ、うるおいなど、かけがえのない充足感を与えてくれます。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の方々の協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰に包まれた「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺など私有地の緑化が不可欠です。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様から寄附をいただいたお金を積み立て、その果実(利子)で私有地の緑化を進めていくとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れるより緑豊かな魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに市民の皆様の暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 都市緑化基金はこのような事業を実施しています

## 記念樹プレゼント

札幌市民を対象に、結婚、出産、新築などの人生の節目を記念する慶事に対して、ライラック、ツツジ、ウメなど10種類ほどのの中から希望の苗木をプレゼントしています。

応募は往復はがきで、返信用はがきが引換券となります。



## ツタ苗の補助

対象：市内の住宅、事業所等の壁面、法面など。

補助数：植え込み予定の半数(最大15本まで)

申し込み：春秋の年2回。



## フラワーポットの貸し出し

対象：市内の町内会、自治会、商店街などの民間団体

個数：1団体あたり30個以上100個まで

規格：70cm×24×cm20cm

貸出条件：3年間継続した利用。

貸し出しの初年度のみ、培養土と花苗を1ポットあたり5株提供しますが、次年度以降は、利用団体において用意のこと。

申し込み：年1回春のみ



第41回（平成19年度）

## 緑の絵コンクール



### 大賞作品

青木 香菜子 さん（札幌市立西小学校 4年生）

第41回緑の絵コンクールは小学生の部では43校1,273点、中学生の部では14校193点、計1,466点の応募があり、審査の結果、小学生の中から青木香奈子さん、中学生の中から清河陸さんの作品を大賞作品として選考しました。

緑の絵コンクールは、毎年、札幌市内の小学生・中学生を対象として札幌市環境局みどりの推進部と財団法人札幌市公園緑化協会の共催で実施しています。



## 大賞作品

清河 陸さん（札幌市立羊丘中学校 2年生）

第19回（平成19年度）

## 緑と花のフォトコンテスト

### グランプリ作品



作品名「百合が原盛夏」

（百合が原公園）

撮影者 山崎久子さん

#### －グランプリ作品審査講評－

構図全体に安定感があり、作者の優れた撮影センスを感じさせます。夏雲走る大空と香り立つようなラベンダーにサンドされたユリのカラーコントラストの絶妙さに加え、点景としての飛行機と人の対角的な配置等、まさに盛夏の決定的瞬間を捉えたグランプリ作品です。受賞おめでとうございます。

第19回緑と花のフォトコンテストには、四つ切り部門に63名170点、サービスサイズ部門に67名304点、計130名474点の力作が寄せられました。

## 四つ切り部門 優秀賞



作品名「ふたりの時間」  
(サッポロさとらんど)  
撮影者 板崎 礼子 さん



作品名「昼下り」  
(北海道大学構内)  
撮影者 遠藤 久栄 さん



作品名「モエレの夜明け」  
(モエレ沼公園)  
撮影者 今野 実 さん

## サービスサイズ部門 優秀賞



作品名「笑う花」  
(百合が原公園)  
撮影者 山崎 久子 さん



作品名「モエレデート」  
(モエレ沼公園)  
撮影者 東谷 静香 さん



作品名「輝く穂波」  
(滝野すずらん丘陵公園)  
撮影者 須田 美佐子 さん

平成20年度も第20回緑と花のフォトコンテストを実施し、札幌市内の公園や緑地における、緑や花の魅力・美しさ、公園でのひととき、自然とのふれあいなどを表現した作品の募集を予定しています。(応募締切：平成20年8月末日)

# 平成19年度札幌市都市緑化基金事業報告

## 1 植樹等による民有地緑化事業

### (1) 記念樹プレゼント

札幌市民の結婚、出産、新築、入学などの人生の節目のお祝い之际して、自宅の庭等で大切に育てていただくことを目的に、事前応募による苗木のプレゼントを行いました。

■配付月日 春季：平成19年5月12日（土）・13日（日）

秋季：平成19年10月13日（土）・14日（日）

■配付場所 百合が原公園

■配付苗木及び本数

春 季		秋 季	
配布苗木名	配布本数	配布苗木名	配布本数
ライラック（花色：白色）	54本	ライラック（花色：白色）	30本
ライラック（花色：紫色系）	61本	ライラック（花色：紫色系）	35本
鉢植え向きライラック	174本	鉢植え向きライラック	82本
クロフネツツジ	327本	クロフネツツジ	123本
エゾムラサキツツジ	218本	エゾムラサキツツジ	80本
ドウダンツツジ	241本	ドウダンツツジ	125本
キレンゲツツジ	226本	キレンゲツツジ	74本
ムクゲ	69本	ナツツバキ	112本
ナツツバキ	264本	コデマリ	101本
黄金シモツケ	135本	キングサリ	49本
サガエギボウシ	81本	ブンゴウメ	64本
キングサリ	127本	ヤエザクラ	42本
チシマザクラ	193本	エゾヤマザクラ	37本
ブンゴウメ	167本	サクラランボ	57本
サクラランボ	147本	アロニア(黒い実のナナカマド)	76本
プルーン	268本	ハスカップ	199本
ブルーベリー	970本	プルーン	118本
		ジュンベリー	240本
		ブルーベリー	539本
小 計	3,722本	小 計	2,183本
合 計			5905本

### (2) 緑化ツタ苗補助

家庭及び事業所等の壁面緑化を計画している札幌市民に対して、植込み予定数の半数（最大15本まで）のナツツタの苗を補助し、壁面緑化の推進を図りました。

	春 季	秋 季	合 計
補助件数	26件	12件	38件
補助苗数	206株	80株	286株
緑化延長	432 <sup>㎡</sup> 元	170 <sup>㎡</sup> 元	602 <sup>㎡</sup> 元

### (3) フラワーポットの貸し出し

町内会、商店街等の緑化活動に対して、身近な緑の創出と花壇造成の一助となるようフラワーポットを3年間無料で貸し出しました。(貸し出し初年度のみ花苗と培養土を提供)

区 分	団体数	貸出数	備 考
町 内 会	4	250基	中央区1, 北区1, 東区1, 西区1
自 治 会	3	170基	南区2, 手稲区1
商 店 街	1	100基	西区1
合 計	8	520基	※新規貸出分のみ合計数

## 2 緑化推進に関する普及啓発事業

### (1) 第41回緑の絵コンクール

緑化意識の高揚と啓発を図るため、札幌市内の小学生・中学生を対象とした、緑をテーマの絵画コンクールを札幌市との共催により実施し、優秀作品100点及び優秀校2校を選考しました。

- 応募総数 小学校 43校 1,273点  
中学校 14校 193点
- 表彰式 平成19年10月20日(土)  
ホテルノースシティにおいて、入賞者に賞状及び副賞を授与
- 入賞作品展示 期間：平成19年10月19日(金)～10月23日(火)  
場所：札幌地下街オーロラコーナー

### (2) 第19回緑と花のフォトコンテスト

緑化意識の高揚と啓発を図るため、市内の公園・緑地での花と緑、自然とのふれあいなどをテーマにフォトコンテストを実施し、グランプリ1点、優秀賞6点(各部門3点)、入賞20点(各部門10点)を選考しました。

- 応募総数 130名 474点 四ツ切部門 63名 170点  
サービスサイズ部門 67名 304点
- 表彰式 平成19年10月11日(木)  
札幌すみれホテルにおいて、入賞者に賞状及び副賞を授与
- 入賞作品の展示 期間：平成19年10月12日(金)～10月18日(木)  
場所：札幌地下街オーロラコーナー

# 園芸に関するさまざまなご相談を お受けしています



「咲き終わった花の手入れはどうしたらいいの?」「肥料はいつ何をやればいいの?」こうした園芸に関するさまざまなご相談に、専門知識を持ち経験豊かな「緑の相談員」がお答えします。直接お越しになるか、お電話でもご相談をお受けしています。

## 豊平公園緑のセンター

- 豊平区豊平5条13丁目
- 開館時間  
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休館日  
毎週月曜日（月曜日が休日の場合は翌日）  
12月29日から翌年1月3日まで

### — 緑の相談 —

#### ●相談日・時間

上記休館日を除く毎日  
午前10時から午後4時まで  
（正午から午後1時まで休み）

**電話 811-9370**

## 百合が原緑のセンター

- 北区百合が原公園210番地
- 開館時間  
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休館日  
毎週月曜日（月曜日が休日の場合は翌日）  
12月29日から翌年1月3日まで

### — 緑の相談 —

#### ●相談日・時間

4月29日から11月3日の間の、  
毎週木、日曜日  
午前10時から午後4時まで  
（正午から午後1時まで休み）

**電話 772-3511**

## 平岡樹芸センター

- 清田区平岡4条3丁目1-1
- 開園時間  
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休園日  
毎週月曜日（月曜日が休日の場合は翌日）  
11月4日から翌年4月28日まで

### — 緑の相談 —

#### ●相談日・時間

4月29日から11月3日の間の、  
毎週水、土、午前10時から午後4時まで  
（正午から午後1時まで休み）

**電話 883-2891**

### <温室観覧料>

大人（高校生以上）……………130円  
中学生以下・65歳以上……………無料  
（敬老手帳などをご提示ください）

## みどりの図書館

各センターでは、園芸、緑化、自然などに関する書籍や雑誌類をそろえ、自由にご覧になることができます。

平成19年度札幌市都市緑化基金への寄附につきましては、下表に掲載の皆様のほか、設置している募金箱へもたくさんの募金を頂戴いたしました。この紙面をおかりして厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

札幌市の緑が市民の生活の中から生まれ、緑豊かな札幌の街並みへと創り出されるよう、今後も様々な事業を企画してまいります。

平成19年度 ご寄附いただいた皆様	
※敬称は省略させていただきます	
19年 4月	札幌農林株式会社
19年 7月	ジェイ・アール北海道バス株式会社
19年 8月	株式会社第四銀行札幌支店
19年 9月	富士ゼロックス北海道株式会社社員会
19年10月	札幌トヨペット株式会社
20年 1月	北海道造園コンサルタント・王子木材緑化グループ

## 緑あふれる街づくりのため札幌市都市緑化基金の募金にご協力をお願いします

### —募金箱の設置場所—

百合が原公園・豊平公園・厚別公園・農試公園・川下公園・前田森林公園・大通公園・円山公園・平岡公園・モエレ沼公園・豊平川さけ科学館・各区役所・札幌市環境局みどりの推進部 など

### — 基金に関するお問い合わせは —

#### 札幌市環境局 みどりの推進部 みどりの推進課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階  
電話 011-211-2522

#### 財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目 ニューワンビル4階  
電話 011-211-2579



編集・発行 財団法人札幌市公園緑化協会

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地16 ニューワンビル4階  
電話 011-211-2579

<http://www.sapporo-park.or.jp/>

すくすくみどりは、財団ホームページからダウンロードできます。

この冊子は再生紙を使用しています。